

第三十四回企業活性化研究分科会・議事録

＜第三十四回 2010年9月25日（土）時間：13：30～17：00 於：専修大学（神田校舎）＞

1. 参加者：井端、魚谷、木村、齋藤、杉本、高市、長井、松本、宮川、山本、依田、渡邊

2. テーマ：企業活性化に関する研究

3. 発表内容

テーマ①：『“Corporate Governance and Financial Constraints on Strategic Turnarounds” by Igor Filatotchev and Steve Toms』

・報告者：松本徹

4. 発表内容

テーマ②：『コーポレートガバナンスについて』

・報告者：依田光広

5. 発表内容

テーマ③：『粉飾企業の分析』

・報告者：宮川宏

・配布資料：5枚

・報告内容の要旨

本報告は、TTGホールディングス（以下、同社という。）の粉飾について分析したものである。同社は、2003年3月期から2005年3月期の有価証券報告書において不適切な経理処理と虚偽記載を行っている。訂正報告書によると、主な不適切な経理処理の内容は、売上原価計上の翌期への繰延べ、繰延税金資産の不適切な計上などが挙げられている。本報告では、訂正報告書の財務数値から同社による不適切な経理処理と虚偽記載の目的および手段について検討している。分析手法には、収益性分析および主な財務諸表項目の訂正前後の数値から差分をとる方法を用いている。

同社による不適切な経理処理と虚偽記載に至った背景には、第三者割当増資を引き受けた同社を取り巻く関係先の存在により、粉飾行動に至ったと結論づけている。また、訂正報告書に記載されている繰延税金資産の不適切な計上に関しては、企業による将来の見積りの判断を要することから、推測の困難性を指摘している。

（文責：齋藤幸雄）